

業に追い込まないようにした。同社は他社に先駆けて積載等のコンブライアンスを徹底しており「規制対応を機に平成生まれの若い人が砕石業界で胸を張って働くことのできる砕石輸送に変えていきたい」。

埼玉の砕石会社は自社保有の営業用車両を中心に運用するなかで規制に対応した形での自家用タ

ンプの最適な活用方法を模索する。台材運搬は営業用タンクでの骨材納入の要望があり、納入先のニーズによって営業用と自家用を使い分けていく方針。一方、車両を保有せず、個人事業主を含む多数の零細業者と取引する砕石会社は、仕入販売の形態を取らうと各輸送業者に特定のユーザーを割り当てるべく商流の

整理を図っている。群馬の、ある建設業砕石会社は以前運送事業許可を取得したが、運転手の点呼等労務管理や労働時間の制約のため徐々に自家用タンクに切り替わることがあり近々に運送事業を再開する予定。他方を再取得する予定。他方



ブースで事業モデルを紹介
スタッフを抑える手厚いサポートを受けることが可能となる。収益は発電所から灰を引き受ける際の処理手数料と、お陰石の販売益の2軸で、パート

FKGコーポレーション バイオマス展に出展 人工石「お陰石」PR

FKGコーポレーション(熊本県八代市、福岡大造社長)は3月17日から19日にかけて東京ビッグ

サイトで開催された「第11回「国際」バイオマス展」に出展し、産業廃棄物の焼灰を再利用した

人工石「お陰石」をPRする。その製造システムである「RUSシステム」の事業モデル

を紹介し、パートナー契約を呼び掛けた。お陰石は火力発電所やバイオマス発電所から排出された焼灰を原料とする人工石で、主に路盤材や盛土材用として活用できる。製造時と施工時の養生過程で大気中のCO₂を吸収し、1トンの

高めていくことは不可欠。組合として各ブロックで組合員に対し、ドライバの賃金アップをはたらかけている。日々雇用が主流の業界界に中々目を向けてもらえないこともあり、ドライバを社員雇用する動きもある。仕事の繁閑差を考

「一昨年に自動車運送業界分野における特定技能外国人の受け入れが閣議決定され、外国人が在留資格を取得することによりアシテータ車ドライバの業務に従事できるようになった。当組合も昨夏に登録支援機関を招いて組合員を対象に説明会を実施した。組合員の受け入れ事例はまだないようだが、外国人や女性など担い手の裾野を広げていくことは欠かせない。

「一昨年に自動車運送業界分野における特定技能外国人の受け入れが閣議決定され、外国人が在留資格を取得することによりアシテータ車ドライバの業務に従事できるようになった。当組合も昨夏に登録支援機関を招いて組合員を対象に説明会を実施した。組合員の受け入れ事例はまだないようだが、外国人や女性など担い手の裾野を広げていくことは欠かせない。

「我々に安心して生コン輸送を任せたいだけなら荷主からのノークレーム、ノー事故」を組合員に意識付けしたい。車西の衝突回避機能等の向上により事故は減っている印象であり、ドライバの不注意を減らし安全運転を徹底していく。毎月、安全対策向上委員会が安全について議論を重ねて有効性の高い取り組みを検討し、3カ月ごとに安全強化月間を設けて安全を啓発している。

輸送 需要減 で説明会

慮すると全員と雇用を結ぶのは難しく、閑散期の仕事を予測して確実に稼働できる車西に見合った人数のドライバを社員として雇用契約し、繁忙期の不足分を日々雇用のドライバで補っている事業所が多いようだ」

「一昨年に自動車運送業界分野における特定技能外国人の受け入れが閣議決定され、外国人が在留資格を取得することによりアシテータ車ドライバの業務に従事できるようになった。当組合も昨夏に登録支援機関を招いて組合員を対象に説明会を実施した。組合員の受け入れ事例はまだないようだが、外国人や女性など担い手の裾野を広げていくことは欠かせない。

「一昨年に自動車運送業界分野における特定技能外国人の受け入れが閣議決定され、外国人が在留資格を取得することによりアシテータ車ドライバの業務に従事できるようになった。当組合も昨夏に登録支援機関を招いて組合員を対象に説明会を実施した。組合員の受け入れ事例はまだないようだが、外国人や女性など担い手の裾野を広げていくことは欠かせない。

「一昨年に自動車運送業界分野における特定技能外国人の受け入れが閣議決定され、外国人が在留資格を取得することによりアシテータ車ドライバの業務に従事できるようになった。当組合も昨夏に登録支援機関を招いて組合員を対象に説明会を実施した。組合員の受け入れ事例はまだないようだが、外国人や女性など担い手の裾野を広げていくことは欠かせない。

製造・使用で計600t(重量比約6%)のCO₂を固定化。製造工程で熱エネルギーを使用しない環境配慮型製品だ。天然砕石に比べて地震時の液状化に対して5倍以上の耐性を持つほか、施工時に右同士が結合して硬化するため洪水発生時に流されにくく、防災・減災に寄与するメリットもある。

灰の成分は個々の発電所や日々の条件で変動するが、同社は独自開発のRUSシステムを導入し、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による品質管理の課題を解決している。同社開発の「FKGモニタ」は、製造現場で少量採取した灰を分析し、データを本部に送信。本部で即座に最適な配合条件を算出してフィードバックし、自動で製造を開始する。

同社とライセンズ契約を結びパートナー企業となることでRUSシステムを活用できるようになり、許認可申請の同行や灰の仕入れ交渉、販売ノウハウの提供に至るまで、新規事業としてのリ